

年 組 名前：

問1

世界保健機関などの報告書によると、
 ①「自宅で安全な飲用水が確保できない人」と
 ②「水とせっけんで手洗いができる設備が
 自宅にない人」は、
 それぞれ世界人口の何%いますか。

①「 %」 ②「 %」

問2

「安全な水」の整備が特に遅れているのは、
 どの地域ですか。

.....

問3

「安全な飲用水」や「きれいな手洗い水」を
 確保できない場所が、世界にはまだまだ多い
 実情についてあなたはどのように思いますか。また、
 改善する方法はありますか。書いてください。

「実情について」

.....

「改善する方法」

.....

世界26% 安全な水不足

【ジュネーブ共同】世界保健機関（WHO）と国連児童基金（ユニセフ）は1日、自宅で安全な飲用水を確保できていない人が、2020年に世界人口の26%に上っていたとの報告書を公表した。状況はサハラ砂漠以南のアフリカで最も深刻で、約7割に達している。新型コロナウイルス感染症の拡大防止で手指消毒の重要性が指摘される

WHO報告 地方、途上国で整備遅れ

中、水とせっけんを使って手を洗うことができる設備が自宅にない人も29%に上っている。特に地方や発展途上国での環境整備が遅れており、国際社会に取り組み強化を促している。報告書によると、衛生面で問題の多い途上国では、トイレを利用できているのは世界全体で54%にとどまっている。地方では44%、都市部でも62%となっている。WHOのテドロス事務局長は、多くの人が安全な水の供給を受けられず、衛生的な環境下で生活できていないこととに危機感を表明。「新型コロナウイルスの大流行を収束させるためにも、世界的に最優先課題だ」と訴えた。

(2021年7月2日付 山梨日日新聞5面)